

## 北近畿タンゴ鉄道宮福線及び宮津線の鉄道事業再構築実施計画の概要

### 1. 対象路線

北近畿タンゴ鉄道 宮福線（宮津～福知山間：30.4 km）R4 輸送密度 799 人  
宮津線（西舞鶴～豊岡間：83.6 km）R4 輸送密度 559 人

### 2. 事業構造の変更の内容

現行、第一種鉄道事業者である北近畿タンゴ鉄道(株)が、第三種鉄道事業者として鉄道用地、鉄道施設及び車両を保有し、WILLER TRAINS(株)が当該用地、鉄道施設及び車両を有償で借り受けて、第二種鉄道事業者として運行を行う。

### 3. 計画期間

平成27年4月1日\*～令和7年3月31日（10年間）

※現に認定を受けている計画の変更認定のため

### 4. 地方公共団体その他の者による支援の主な内容

- (1) 鉄道施設等の更新・整備及び維持・修繕に要する費用は、沿線自治体（京都府、兵庫県、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、豊岡市）が負担
- (2) 「海の京都」観光圏整備事業による観光まちづくり等、まちづくり・観光戦略と連携した公共交通網の形成

### 5. 利用者の利便の確保に関する主な事項

- (1) 安全・安心で質の高い輸送サービスの提供（事業費 179 億円）  
線路・電路・車両設備の更新と機能向上等により乗り心地などの快適性や列車運行の定時性・安定性及び速達性の向上を図るほか、バリアフリーに対応した車両の導入や、要介護者への理解や対応についての社員訓練に取り組む。
- (2) 観光施策と連携した外国人旅行者受入環境整備等の利用促進（事業費 1.7 億円）  
「海の京都」DMO 等と連携し、海の京都観光圏整備事業等による観光まちづくりを推進し、観光拠点の魅力を高めることに併せて、WEB サイトや放送、駅施設等の多言語対応や Wi-Fi 環境の整備、クレジットカード決済の拡大など、外国人旅行者にも利用しやすい環境整備等利用促進を進める。
- (3) 他の交通との接続や列車待ち環境の改善（事業費 3.8 億円）  
他の鉄道やバス等アクセス交通との乗継改善等により、通勤・通学・通院等の利便性向上を図る。また、レンタサイクル、タクシー、自家用有償旅客運送等の活用により、アクセス交通の充実を図るとともに、駅前広場の整備等により乗継利便性の向上に努める。これらに合わせて、駅舎の待合施設やトイレ、コミュニティスペース、コインロッカー等、列車の待ち時間を快適に、有効に過ごせる環境

の整備等を進める。

合計 184.8 億円 ※（１）の一部について、社会資本整備総合交付金を活用予定

## 6. 鉄道事業再構築事業の効果

- 上下分離の際、運行を担う第二種鉄道事業者を第三セクターではなく純民間企業である WILLER TRAINS(株)とすることで、民間のノウハウ、アイデアを活用した利用拡大や経営改善を図ることが可能
- 沿線自治体が鉄道需要そのものを底上げする施策と合わせて、鉄道事業者とともに利用者利便の確保に関する取組を進めることにより、持続可能な地域公共交通の活性化及び再生を適切かつ確実に推進することができる
- 年間利用者数
  - ・計画変更前（令和４年度） 1,315 千人/年
  - ・計画最終年度（令和６年度） 1,481 千人/年
- 事業収支（WILLER TRAINS(株)の営業収支）
  - ・計画変更前（令和４年度） △347 百万円
  - ・計画最終年度（令和６年度） △205 百万円

# 北近畿タンゴ鉄道の鉄道事業再構築事業の概要

## 鉄道事業再構築事業実施スキーム

(計画期間:平成27年4月~令和7年3月)

### WILLER TRAINS

〈第二種鉄道事業者〉

運 行

鉄道施設・車両の  
維持・修繕業務の受託

鉄道用地、  
鉄道施設・  
車両貸付

鉄道用地、  
鉄道施設・  
車両使用料

鉄道施設・車両  
の維持・修繕業  
務の委託

国

### 自治体

京都府、兵庫県、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、豊岡市

財政支援・鉄道施設及び車両の整備・更新、維持・修繕に係る必要額を支援

### 北近畿タンゴ鉄道

〈第三種鉄道事業者〉

鉄道施設・車両保有

鉄道施設・車両の  
維持・修繕業務の委託

鉄道用地保有

## 具体的施策と効果

### 効果

- 上下分離の際、運行を民間企業にすることで、民間のノウハウ、アイデアを活用した利用拡大や経営改善を図ることが可能になる。
- 利用者数:1,481千人/年(R6年度見込)  
(計画変更前:1,315千人/年(R4年度))
- 事業収支:△205百万円(R6年度見込)  
(計画変更前:△347百万円(R4年度))

### 具体的な施策

◇は社総交活用予定事業

- 安全な輸送サービスの確保
  - ◇ 鉄道施設等の計画的な整備・更新  
[施設整備 10年間:6,188百万円]  
そのほか、[維持・修繕10年間:6,737百万円]
  - ◇ 要介護者対応についての社員訓練
- 観光施策と連携した外国人旅行者環境整備
  - ◇ 海の京都DMO等と連携し、観光まちづくりを推進
  - ◇ 多言語対応やWi-Fi環境の整備等、外国人旅行者にも利用しやすい環境整備
- 他の交通との接続や列車待ち環境の改善
  - ◇ 他の鉄道やバス等アクセス交通との乗継改善
  - ◇ 駅舎の待合施設やトイレ、コミュニティスペース、コインロッカー等、列車の待ち時間を快適に、有効に過ごせる環境の整備

1. 社名 **WILLER TRAINS株式会社**(第二種鉄道事業者)  
通称は「**京都丹後鉄道**」  
(第三種鉄道事業者は**北近畿タンゴ鉄道株式会社**)
2. 本社 京都府宮津市字鶴賀2065-4
3. 資本金 5千万円
4. 株主 WILLER(株)100%
5. 区間 宮福線(30.4km 単線電化)  
宮津線(83.6km 単線非電化(宮津～天橋立間(4.4km):電化))
6. 沿革 大正13年:国鉄宮津線が舞鶴(現:西舞鶴)～宮津間で営業開始  
昭和7年:西舞鶴～豊岡間が営業開始  
昭和57年:宮福線を引き受けるため宮福鉄道(株)が設立  
昭和62年:宮津線が特定地方交通線第3次廃止対象路線となる  
昭和63年:宮福線(福知山～宮津間)が営業開始  
平成元年:宮福鉄道(株)が北近畿タンゴ鉄道(株)に改称  
平成2年:北近畿タンゴ鉄道(株)がJR西日本より宮津線を継承

● ご利用状況 (輸送密度) (単位:人/日)

区間	H26年度	R元年度	R4年度
宮津線	734	614	559
宮福線	1,215	1,079	799

● これまでの動きと現在の状況

- ◆令和26年12月:「北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画」策定
- ◆平成27年 3月:鉄道事業再構築実施計画認定(計画期間:平成27年度～令和6年度)
- ◆平成27年 4月:WILLER TRAINS(株)が第二種、北近畿タンゴ鉄道(株)が第三種鉄道事業者として、鉄道事業再構築実施計画による上下分離方式での運行開始
- ◆令和6年 1月:「京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画」を策定し、「北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画」から移行
- ◆令和6年 2月:鉄道事業再構築実施計画変更認定申請の認定

